

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 国際推進室	所属長名	伊藤 一男	電 話	483-1151 内線2337
-----	-------	-----	-------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4077		事務事業名称	国際推進事業						短縮コード	経常	4077	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	八千代市国際交流協会補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
15年ほど前に、国や県において国際理解を推進していこうという流れがあった。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために							
国際化への関心、対応への需用は年々高くなっている。 八千代市内の在住外国人の数も増加している。 各交流事業後に、個人的に交流をする人が多くなってきている。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進							
					中 項 目	02	地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進							
					小項目（施策）	02	平和と交流によるまちづくりの推進							
					細 項 目	02	市独自の国内外との交流によるまちづくりの推進							
				実 施 計 画 の 計 画 事 業	0203	国際化推進基本方針・基本計画策定事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	在住外国人、市民（住民基本台帳・外録含む）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 日本語指導ボランティアへの支援、タイラー市への親善訪問団派遣、八千代市国際交流協会設立準備・設立							
	※平成19年度に計画していること： 国際化推進基本方針策定、八千代市国際交流協会への支援、タイラー市からの親善訪問団の受入準備、日本語を母語としない親と子のつどい、JICAへの協力							
意図 （何を狙っているのか）	外国人との交流により、文化に対する理解を深め、友好的な考え方を育て、なおかつ多くの人に広めていく。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 7 年 度	1 8 年 度		1 9 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	在住外国人登録者数	人	3, 731	3, 850	3, 663	3, 850	
	指標 2	市民（住民基本台帳・外録含む）	人	184, 683	184, 000	186, 650	188, 000	
	指標 3							
活動指標	指標 1	生活ガイドブックの配布数	部数	350	350	350	350	
	指標 2	日本語ボランティア教室の開催回数	回数	266	306	306	306	
	指標 3	八千代市・タイラー市姉妹都市交流事業実施に要した会議の回数	回数	3	10	16	20	
成果指標	指標 1	在住外国人のガイドブックを利用した割合	%	9. 38	17. 1	9. 56	10	
	指標 2	日本語ボランティア教室を受講した人数	人数	56	100	73	100	
	指標 3	八千代市・タイラー市姉妹都市交流事業に参加した市民の人数	人数	15	30	45	200	
上位成果指標	指標 1	国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみた	%			36. 5		
	指標 2							
	指標 3							

コード	4077	事務事業名称	国際推進事業				所属名	総合企画課 国際推進室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			国際交流協会は設立されたが、既存の団体が集まって立ち上げたため、クリアしなければならない問題が残っている。 それらの問題をひとつずつ乗り越えながら、国際交流協会が事業面・資金面において力をつけていけるように支援し、事業の拡大を目指す。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			外国人の増加に伴い、早急に対応していかなければならない問題が浮上して来ている。 (外国人に市について知ってもらうための資料の様々な言語への翻訳・英語以外の語学ボランティアの育成) これらを解決し成果を上げるためには、経費を増やさなければならない。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
国際交流事業を行う担当窓口の一本化して交流活動を行いやすくするよう、数年前から市内の国際交流団体から意見が寄せられている。									

所属長コメント	姉妹都市などの国際交流はもとより、市内在住外国人が年々増加する現在、国際交流協会や市民と共に、外国人にも住みやすいまちづくりを推進する。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			課題を検証して推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									